

採択評価基準のポイント

①成果、②手法、③実施計画、④実施体制、⑤その他の個別事項毎に5段階の評価を行い、これらの個別事項毎の評価により総合評価を行い、各採択提案書の優劣を判断する。

① 成 果

ポイント	<p>【基本計画への適合性】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 提案された研究開発成果が、基本計画書の目的・目標に沿ったものとなっているか。・ 基本計画書に記されている到達目標に対する達成度を評価することが可能な具体的な評価項目を設定し、数値目標が定められているか。 <p>【技術の優位性】</p> <ul style="list-style-type: none">・ (商用サービスへの実装等、産業への展開等の観点で) 技術的に優れているか。例えば、<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 製品化や通信設備への実装をする際に導入コストが低い<input type="checkbox"/> 技術の汎用性・応用性が高い 等 <p>【成果の実用化等に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 研究開発成果の実用化の目標時期、実用化に至るまでのロードマップ(本研究開発が終了した後の期間を含む。)及び被評価者の活動計画等を明示した取組計画等が具体的に提案されているか。また、研究開発成果の国際標準化や国際展開に向けた取組方針やロードマップ等が具体的に提案されているか。
------	---

② 手 法

ポイント	<p>【有効性】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 提案された研究開発の手法が、目的を達成するために妥当か。本研究開発の目的及び性格に鑑みて、短期間で確実に目的を達成できるか。 <p>【効率性】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 提案された研究開発の手法が、(費用対効果の観点で) 技術的に優れているか。効率的に目的を達成できるか。例えば、<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 技術を開発するためのコストが低い<input type="checkbox"/> 技術を開発するまでの期間が短い 等
------	--

③ 実施計画

ポイント	<ul style="list-style-type: none">・ 研究開発の実実施計画が無理なく、効率的に組まれているか。例えば、<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 計画が具体的かつ明確に設定されている<input type="checkbox"/> 年次目標の設定が適切である 等
------	--

④ 実施体制

ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究開発体制、スケジュール等の管理体制、(複数企業で受託した場合の) 連携体制など、研究開発を実施するための体制は適切か。例えば、 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 研究設備、研究者の確保、研究管理能力等は充分か <input type="checkbox"/> 研究者が相当程度の研究実績を有しているか <input type="checkbox"/> エフォートは適切か 等 ・ 災害の実情について十分な経験を有している東日本大震災の被災地域の大学等の知見や強みを最大限活用しつつ実施することにより、産学官が連携した新たな研究開発イノベーションの国際的拠点形成に資するものであるか。例えば、 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 共同研究を行う被災地域の相手方や連携方策、実施計画が具体的に設定されているか <input type="checkbox"/> 相手方との間で調整が具体的にに行われている等、実現可能性は高いか 等 ・ 研究開発の一環として独立行政法人情報通信研究機構が東北大学等に整備する予定のテストベッドを積極的に利用する等、研究成果の実証・評価のための体制等が整っているか。
------	---

⑤ その他

ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画書の「6. 共通事項及び特記事項」に記載の条件 (各研究開発課題に固有の条件) が満たされているか。 ・ ①～④の観点による評価で判断が付かない場合に考慮されるもの。例えば以下について予め評価対象を明らかにした上で評価を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 手法の新規性、他の研究開発への発展性 (研究目的の範囲外への波及効果) <input type="checkbox"/> 研究機関の実績 (同様の研究開発の実績、財務体質、管理能力 等) ※不適格業者の排除という観点からのチェックに留め、新規参入の障壁とならないよう十分に配慮することとする <input type="checkbox"/> 標準獲得、成果発表等に向けた取組み <input type="checkbox"/> 基本計画書の6 (1) 後段に掲げる「積極的な普段使いも可能となる製品・サービスの実現に向けたアプローチ」に関する提案 <input type="checkbox"/> 基本計画書の6 (5) に掲げる「人材の確保・育成への配慮」に関する提案 <input type="checkbox"/> 該研究開発の成果展開に係る実施計画・受託者による経費 (設備、機器、人件費、管理費 等) 等
------	--